

環境行政について

一般廃棄物処理基本計画について質問します。

福山市は、現在、今後の一般廃棄物の処理について、総合的、長期的な基本方針を定めるとして、2016年度から2025年度までの10年間の一般廃棄物処理基本計画を策定しています。

これは、①一般廃棄物の発生量と処理量見込み、②排出抑制のための方策、③分別の種類と分別の区分、④処理と実施する者に関する事項、⑤処理施設の整備に関する事項との、5項目を定めるものです。

8月24日に行われた文教経済委員会では、この計画について、「調査会社に委託し、方向性について打ち合わせを重ねている」とのことでした。さらに、今後の方向性として、●RDF参画市町のような広島県内での広域処理、●連携中枢都市圏のような広域処理、●自区内処理 と、3つの方向性がある、とのことでした。

本市の一般廃棄物は、市内3か所の清掃工場での焼却処分と、RDF工場でRDF化してのリサイクル発電所での焼却を行っていま

すが、R D F 方式は、多額の経費が発生し、財政上大きな負担となっていました。

このうち、広域処理は、懸念材料の多いものです。

R D F 方式による県内の参画市町による広域処理は、事業から撤退を表明している自治体もあり、枠組みそのものが揺らいでいます。

また、連携中枢都市圏については、岡山県の2市を含み、世羅町などは、広島市圏域への参画も言われ不確定要素が多い状態です。

廃棄物処理の基本は自区内処理であり、これまで行ってきたR D F は「高コスト」という総括を踏まえ、広域処理ではなく、自区内処理を基本に計画を立てるべきですが、ご所見をお示し下さい。

毎年度、中央環境審議会が、「循環基本計画」進捗状況の評価・点検を行うこととしていますが、本年2月に「第1回点検結果報告」が出されました。

そこでは、今後の方向として、リデュース、リユース、リサイクルという3 R の推進に向け、「社会システムの在り方について検討」を行うことや「事業者による製品アセスメントや環境配慮設計、資源生産性など」の取り組みの推進が提起されています。

このように、国の法律や施策では、ごみ処理の基本は、焼却処分を最小限に抑え、3Rを強めることを最重要課題としています。

今後策定する、基本計画は、3Rと拡大生産者責任をいっそう進める必要がありますが、市の考え方をお示し下さい。

全国の自治体では、3Rを徹底し、市民1人当たりのゴミ排出量を徹底して減らしています。

東京都小金井市は、都市圏であるにも関わらず、一人あたり一日のゴミ排出量は、634gと、本市の942gの3分の2程度です。

福山市も取り組みを強化し、より一層の排出量の低減ができるのではないのでしょうか。

本基本計画の見直しは、大胆にごみ減量を進める絶好に機会です。

処理経費の増高を押さえ、徹底分別をすすめ、市民参加のゴミ行政に転換することが必要です。

本計画の策定段階から、コンサルタント任せではなく、市民参加を促し、市民との共同で計画を策定することを求めます。

そして、ごみ排出量の目標値を大胆に引き下げ、分別を細分化し、自区内処理・「最小限の焼却」を基本にすることを要望します。

以上について、ご所見をお示し下さい。

答弁＜市長＞

次に、環境行政についてであります。

まず、一般廃棄物の処理についてであります。

本市では、区域内での処理のほか、リサイクル発電事業による広域処理を行っております。

特に、燃やせるごみの約7割をRDF方式にすることで、ダイオキシン類の発生抑制、エネルギーの高度利用や最終処分場の延命化など、循環型社会の構築に貢献してまいりました。

次期計画における廃棄物の処理につきましては、今後の社会・経済情勢、廃棄物の発生見込みなどを踏まえ、廃棄物の適正かつ持続可能な処理を行うため、さまざまな可能性を検討してまいります。

次に、ごみ処理にかかる3Rと拡大生産者責任についてであります。

本市においては、2004年度（平成16年度）から「ごみ減量作戦」を展開し、市民、事業者の皆様方のご協力により、2015年度（平成27年度）の目標排出量15万7,000トンの前倒し

で達成しております。

今後につきましても、廃棄物の排出を抑制し、循環型社会の構築のため、市民、事業者、行政が協働をベースに取組みを図ることが重要と考えております。

次に、計画策定に伴う市民参加についてであります。

今後、市民や市民団体、学識経験者等で構成する福山市廃棄物減量等推進審議会で、ごみ排出量の目標数値、分別等につきまして、ご意見をいただくとともに、パブリックコメントも実施してまいります。

また、計画内容につきましては、一般廃棄物の適正かつ安定的な処理を基本に、現実的、具体的な施策について検討してまいります。

以上